

深川消防団ニュース



さきもり

発行 深川消防団
所在地 〒135-0042
東京都江東区木場
3丁目18番地10号
深川消防団本部
TEL : 03-3642-0119
FAX : 03-3641-4422

新春副団長対談

深川消防団の明日について 増茂団長を交え思いを語る

明けましておめでとうございます。
新しい年を迎えるにあたり、増茂団長、今井副団長、志村副団長、小安副団長、形屋副団長にお集まり頂き、深川消防団への展望、思いを語って頂きました。



にこやかなムードで、増茂団長を中心に
思いを語る四名の副団長。

まずは、災害を防ぐ事が重要です。
それには、防災訓練を大切に
が一番です！

まず、5人の幹部の方々は、消防団
にとって最も重要な要因として、防災
訓練の重要性を一番に取り上げていま
した。

地域社会と消防団とがコミュニケーション
をとり連携する事が大切であり、
しかも、防災訓練を行うことにより地
域住民と密着し、さらに防災訓練での
団員の地域住民への指導力が向上し、
さらに楽しく行われるようになった。

これからは、防災訓練においては、
出来る限り消防団が主体となり、消防
署に支援をして頂けるような形態にし
てみては、と各副団長より意見が出て
おりました。

また、災害現場に駆けつけて来た、
参集団員の状況に併せた訓練が必要で
あるとの意見がありました。



今井副団長

今までも多少は実施していたが更なる
ソフト面での訓練を、との思いが熱く
述べられました。



志村副団長

各分団が目指している町会と
のコミュニケーションづくりを
手助けしたい！

各副団長は、担当分団及びその分団
担当地域の町会と、連携を保つべく積
極的にコミュニケーションづくりを取
り組み、地域社会における消防団の活
動をより推し進めたいとの考えを示さ
れました。

こういった事が担当分団に出向くと痛
切に感じられるとのことで、これこそ
副団長が行う大きな役割なのかもしれ
ないと強調していました。

また、各分団長の自主性・指導力を
伸ばすよう努力し、団員が独り立ちす
るよう促し、次世代の団員を育てる
必要性があるとの提案が有りました。
それには今後の消防団の運営を消防団
事務局（消防署防災係）に依頼し全面
的に任せるばかりではなく、副団長と
しての行動目標を掲げる事も大切では、

くれないかとの考えを出されました。



小安副団長

受け身ではなく、自主性を高めて！

また、消防署からの指導に頼る受身の体制ではなく自主性を高めて消防団運営を行ないたいとの抱負が述べられました。

これにより活力ある、深川消防団を是非創り上げたいとの、深川消防団の未来像が込められた気がしました。



形屋副団長

以上のように、団長、各副団長の新しい年のみならず、将来の深川消防団への熱い想いが感じ取れた思いがします。

深川消防団員の皆さん、幹部の方々の考えを鑑み、更なる、良き深川消防団を目指そうではありませんか。

団長、各副団長よりの、貴重なご意見ありがとうございます。

(第二分団平林編集員)

消防団に入団して

第六分団 団員

上沼 尚大

皆さんこんにちは。この度、深川消防団第六分団に入団いたしました上沼尚大と申します。私は、平成20年4月、海洋大学入学と同時に東京に住み始めました。東京の生活に始めのうちには戸惑うことばかりでしたが、それから1年たち、段々と生活に慣れてきたころ、私は決心をしました。消防団に入ろう。

なぜ私がこのようなことを決めたのかといいますが、私が育った町、長野県木曾福島では、若者のほとんどが消防団に入団していたからです。

今思い返してみれば、町での火災や水害、また行方不明者の捜索や防災訓練などいつも身近に消防団がありました。

当時は入団資格を満たしていない私は、参加することが出来ませんでした。が、入団資格を満たした今、これまでの恩返しのもりで地域に貢献しようと思ひ、入団を決意しました。

東京は私の故郷ではありませんが、

一つでも多くの技術を身につけ、精一杯第六分団の方と協力して頑張りたいと思ひます。

消防団は、18歳以上の健康な方なら誰でも入団できます。

しかし、全国的に若者の入団がなかなか進まない状態となっております。皆さんの入団をお待ちしています。

(第六分団青柳編集員)

分団施設を壊される

昨年10月未明、区立扇橋河川公園内(猿江一丁目)に設置の、第一分団の防災資材格納庫のシャッターが何者かに破壊されるという事がおこりました。幸いにも庫内の備品についての盗難はなかったものの修理に時間を要する為一時的に備品を移動しました。夜間未成年のさわぐ声が出ていたとの事であり、遊びの延長のようでもあったのでしょうか。

又、同時期他の分団でも、やはり格納庫の側面にスプレーでいたずら書きをされる事件が起っています。

各団は定期的に見廻りをし、防犯に務めていただきたいと消防団長より指示がでました。

又、見廻りについての報告書が各分団に配布されている為必要事項を記載し提出する事になっています。

(第一分団黒編集員)

火災発生、合同点検時

平成二十一年九月二十七日、江東区内消防団合同点検中に「千石2丁目交差点そばにて十一時十分火災発生」の一報がはいりました。

合同点検の講評を受けている最中に、第二分団出動要請が発令し、木場公園から千石2丁目へ、第二分団全員が自転車や急歩にて急行する事態に急転しました。

仮称、千石まなびや通りの状況把握の為、3班に別れ四ツ目通りと、裏通り等を防火服を着用し警戒しました。近隣分団からも数名の応援があり、停電の為、都営住宅内エレベーターに閉じ込められた要救助者の通報を受け署指揮隊へ伝達し、救助隊到着までの連絡対応をしました。

(第二分団平林編集員)



大隊長のひと言



一部大隊長
消防司令
嶋田 洋二郎

今回のインタビューは救急技術担当係長兼第一大隊の嶋田大隊長にお話を伺いました。

レスキュー隊にあこがれて！

入庁の動機の一つは、体を鍛える事が大好きだった事とオレンジ色の制服のレスキュー隊に憧れていた事、人の役に立つ仕事をしたい事でした。

先ず、入庁試験に合格後、合格者全員が消防署に配属される前に、全寮制の消防学校に入校し、半年間、消防官として必要な消防活動の基本や関係法令等を学びます。

(現在は半年間、消防学校での初任教育の後、更に各署で半年間の実務教育を終えてから卒業となる。)

消防学校を卒業し、各署に配属され1年の実務経験を経た後に自分の希望する職種(救急隊、レスキュー隊等)に就くためには、それぞれの研修を受けて資格を取得することが必要です。

嶋田大隊長の場合は数多くある研修の

中でも、最も過酷で競争倍率も高い特別救助技術研修生選抜試験に合格し、地獄の五週間と言われる研修を終了しました。

現在、東京消防庁には80の消防署があり、そのうちレスキュー隊が配置されているのは22署で、ハイパーレスキュー隊は4つの方面本部にあります。

したがって、レスキュー隊の無い署に配属されれば、レスキュー隊配置所属に異動になるまで待ち、やっとレスキュー隊のある署に行っても、レスキュー隊に空きがなければ隊員に任命されないなど、レスキュー隊になるには非常に狭き門であり険しい道のである事を知りました。

ハイパーレスキュー隊の活動は東京都内に留まらず、日本全国、海外で発生した大災害に出場する。スマトラ沖大震災の際、タイ王国に約2週間派遣された経験を持つ頼もしい大隊長です。

その時の体験談などは是非、別な機会にお聞かせ頂きたいですね。

首都直下型地震への備え！

大震災が発生した場合、深川消防署の全署員が参集し、事前計画に基づき、それぞれの任務を遂行しますが、指揮隊(大隊長)として重要なのは、管内でどれだけの災害が発生しているのかを把握し、どの部隊をどこに災害に投入するか判断することです。その際、

当然の事ながら消防署の部隊には限りがあり、地元消防団の活躍が最も期待されるところです。消防団とは普段からコミュニケーションを図り、有事の際に任務分担をはっきりして連携がとれるよう訓練しておくことが大切です。

深川消防署管轄にはビックサイト等の大型商業施設が林立し、多数の神社、仏閣があり、住民以外の不特定多数来街者の出入り多い地区なので特に大震災等の災害時には、地元消防団の大きな活動を期待されています。

消防団においても、日々の訓練で、しっかり基本をマスターし、有事にすぐ行動出来る体制を築くよう心がけたいものです。

大隊長から消防団員の皆様
地域住民の皆様へお願い！

つきましたか？住宅用火災警報器平成22年4月から設置が義務化されます。尊いのちを火災から守るためにも早期の設置をお願いします。深川管内でも住宅用火災警報器で火災の拡大を未然に防いだケースが多々あります。台所には熱感知タイプを、各部屋には煙感知タイプを

救急車の適正利用について！

東京消防庁管内で年間約65万件的救急車の出場があります。救急車が出場してから現場に到着する時間も平均する

と6分であり、救命効果のための最低の目安である5分には1分も遅い結果となっております。

救急車は緊急に医療機関で受信する傷病者の搬送手段ですので、もしも、救急車の要請を迷った時は#7119の救急相談センターに電話してください。

ここでは看護士などが医師の連携のもと、受診等の判断や応急手当のアドバイスなど24時間年中無休で相談に乗ってくれます。

経歴

小平・立川・町田・足立・小岩・蒲田の各消防署に勤務

平成14年に第二消防方面本部のハイパーレスキュー隊に配属される

平成21年4月に深川に配属となり

枝川出張所長

平成21年10月1日付にて現職に就く

インタビューしてみ

嶋田大隊長さんは大変まじめで几帳面な俳優の渡辺謙によく似ている素敵なスポーツマンでした。

取材中も署員の方々の仕事の状況も注視出来る位置の席にすわられる等、(出来る)上司とお見受けいたしました。久々のときめきのせいでしようか、お会いしてまもなく出して頂いたお茶をこぼしてしまいました。

平成二十一年度震災消防訓練
(水利、人員輸送、情報収集)

【期日/10月17日】

深川消防署内からの運営

署隊本部運営図上訓練

増茂団長 (深川消防署)

放水訓練、水利は河川から

森下地区放水訓練

第一・第二・第三・第四分団

豊洲地区放水訓練

第五・第九・第十分団

船舶事業者と連携する

深川地区人員・ポンプ輸送訓練

団本部・第六・第七・第八分団

携帯電話の端末を利用する

現在地からの情報収集訓練

団員50名 (登録者各分団5名)

可搬ポンプを使用し震災訓練の一貫として森下出張所脇の小名木川を利用した放水訓練が行われました。 参加命令は緊急を想定した為2日前に各分団長へ連絡があり各団員に伝達がありました。

実戦訓練だから、以下のような想定外の出来事も多くありました。素早い



ポンプ搬送の要領や、結合ホースの本数と送水圧力の関係、監視用員の問題 (結合以前に送水した)。筒先側と機関員の伝達をトランシーバーで行ったが機関員側ではエンジン音が大きく、伝わらなかった等の問題点を発見できた有意義な訓練でした。

(第一分団目 黒編集員)
(第一分団長 谷川 編集員)

震災時における応援協定締結業者との連携訓練では、深川消防署・深川消防団・深川富士見・船宿吉野屋の各釣り船・実倉建設工業株式会社の作業船の連携で可搬ポンプ等の資機材を運ぶ訓練が行われました。



当日は消防署から可搬ポンプを運び、船に積み込むのを団員が手伝い協定を結んでいる船を活用し豊洲の訓練場へと搬送しました。

訓練場に着くと三連梯子を使い署員と団員が協力し可搬ポンプをひきり上げる訓練をしました。

いざ震災が起きたときこのような貴重な訓練経験を活かしたいと思います。

(第五分団 森本 編集員)

◆ 合同防災訓練

【期日/11月29日 場所/深川一丁目】

深川一丁目と深川住宅合同で深川住宅A棟広場にて防災訓練が行われました。

訓練内容は

1 避難誘導 2 初期消火

3 AED、三角巾等を活用した包帯

4 119番通報 5 担架搬送要領

当日は天気も良く約一時間と短い時間でしたが幅広い年齢層の方々が参加し各訓練を真剣な面持ちで取り組まれました。

他の町会においても、防災訓練を取り行なっていますのでまだ参加されたことのない方もぜひ参加してみてください。

その時は、消防団員も指導にお伺いしますのでお気軽にお声を掛けて下さい。

(第五分団 森本 編集員)



◆東京YMCAと
消防団活動のコラボ!

クリスマス
オープンハウスにて

東京YMCA東陽町センター
12月23日(祝) 10時~16時
江東区・江東区教育委員会後援による
クリスマスオープンハウスが開催さ
れました。

今回の催しへの協力ボランティア団
体は12団体で、当該センターと深川消
防団との関わりは地元町会と協力ボラ
ンティア団体の一つの「東京ひがしワ
イズメンズクラブ」会長・飯田氏(団
本部分団長)会員・今井氏(副団長)
によるものです。

- この催しの主旨は
模擬店、国際協力バザー、フリーマー
ケット、小千谷応援コーナリーの収益を
①パングラディッシュスカラシップ
プログラム
②東京YMCA及び江少連リーダー
養成
③地域高齢者へのプログラム支援
④災害ワークショップ開催
⑤災害緊急支援
として使われます。
- 当日は、子どもひろば、災害体験コ
ーナー、絵画展も併催されました。

〈今ならできる災害時に備えを〉
の災害体験コーナーを昨年に続き今年
も消防署による、煙体験・起震車体
験・AED体験コーナーにおいて深川
消防団第七分団・第八分団が協力し、
どの体験コーナーも盛況でした。



AEDのコーナーでは高齢者の方が、
見聞きするだけでなく、実際に操作も
体験されました。高齢者の方がおし
やるには、今回、AEDの操作を体験
した事で、もし事故に遭遇した場合、
若者へアドバイスが出来ることです。
又、何人もの年少者がAEDの操作
をお母さん、お父さん、と共に参加し
ていました。

係員の取り扱い説明・デモンストレ
ーションを熱心に聴くだけでなく、
積極的に質問を投げかけている様子
を見て、驚き、実に将来が頼もしく思
えました。
手許に入団申込用紙がなかったのが

残念でした。

(第七分団湯浅編集員)

消防団
豆知識

公設消火栓について

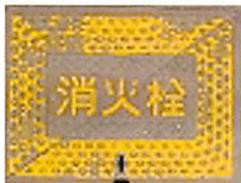
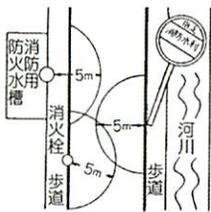
一、概要

公設消火栓は、消防活動に欠かすこ
とのできない重要な施設であり、東京
消防庁管内においては、消防水利の約
75%を公設消火栓が占めている状況に
あります。

法令では、水道への消火栓の設置及
び維持管理は、水道事業者の責務であ
るとしています。このため、東京都区
部の消火栓は、東京都の水道事業者で
ある東京都水道局が設置し、維持管理
しています。

二、公設消火栓の種類

- (1) 地下式単口消火栓
- (2) 地下式双口消火栓
- (3) 区画量水器兼用消火栓



三、消火栓鉄蓋について

消火栓鉄蓋には、統一的な定めがな
いために、型式も正方形型、長方形型、
円形型等さまざまなものがあります。
また、寸法及びデザインも各水道事業
者によって異なっています。

四、塗装による表示について

消火栓枠等の塗色(黄色)表示は、
違法駐車等の排除、消火栓等周囲の障害
物の排除など消防活動上の障害を排除
するという目的から、昭和37年から昭
和46年まで各消防署において独自に黄
色のペイントにより、職員が手作業で
実施していたが、昭和52年から業者に
よる溶着塗装を実施しています。

消火栓枠の塗色(黄色)表示は、法
令上の根拠はありませんが、平成15年
3月に警視庁と協議の結果「道路にお
ける消火栓等の周囲への表示に関する
申し合わせ」を締結し、根拠を明確に
するとともに、溶着塗装を実施する際
は道路使用許可を受けることとなった。



年末・年始特別警戒

第三分団編

例年通り29日～31日の19時30分より年末の特別警戒を行いました。

31日は午後11時30分より深川神明宮にて年始の特別警戒を行いました。

それでは、年末警戒からご紹介しましょう。

第三分団に配置になっている車両にて分団区域内を巡回します。

写真にはつきり写っていませんが、助手席に乗っているのは第三分団で、一番「声」がきれいな女性団員です。(四代目畳屋の奥さん)
各町会の歳末警戒本部も激励訪問します。

分団警戒本部

- 第一分団 住吉一丁目格納庫
- 第二分団 扇橋町公会館
- 第三分団 地域活動センター(新大橋)
- 第四分団 三好地区集会場
- 第五分団 深川一丁目格納庫
- 第六分団 冬木格納庫
- 第七分団 木場一・六町会事務所
- 第八分団 東陽一丁目格納庫
- 第九分団 枝川一丁目格納庫
- 第十分団 豊洲出張所

年始の特別警戒は、大晦日の23時30分より深川神明宮(森下一丁目)にて行いました。主な業務は参拝客の整理及び古札お焚き上げの防火管理を行いました。

秘密の話ですが、消防団員有志が境内にて甘酒の無料配布を行いました。(もちろん私服です)毎年大量に作っていますが、品切れとなります。大人気のサービスとなっておりますので、お越しの際はぜひご賞味ください。

(第三分団阿部編集員)

第四分団編

29日より大晦日まで歳末特別警戒が行われました。

四分団は三好・白河・清澄・平野地区を受け持っていましたので、昨年まで、深川江戸資料館前に行っていたが、改修工事のため、三好地区

警戒対象の神社、お寺

- ◆ 猿江神社
- ◆ 宇迦八幡宮
- ◆ 深川神明宮
- ◆ 浄心寺
- ◆ 富岡八幡宮
- ◆ 深川不動堂
- ◆ 洲崎神社

集会場に移し警戒を実施しました。

町会の役員を兼ねている団員も多く町会の夜警と行き来する姿も見られました。

また大晦日には、浄心寺(平野二丁目)の除夜の鐘の警備にあたりながら年を越しました。

(第四分団正本編集員)



「ワンポイント」

① 「低温やけど」に注意

暖房器具が欠かせない季節になりました。

そこで気をつけたいのが暖房器具による「低温やけど」です。

特に最近湯たんぽを使う人が増え、それに伴う事故が多くなっています。

「低温やけど」とは、低い温度の暖房器具などに長時間接触することによっておこる熱傷です。

例えば、ぼかぼかとして暖かいと感じる暖房器具（湯たんぽ、ホットカーペット、使い捨てカイロなど）でも、直接皮膚にあて続けると44℃の物で約6〜10時間で低温やけどを起します。

温度が高くなるとさらにその時間は短くなり、46℃のものでは1〜2時間程で低温やけどになるといわれています。

低温やけどは、低い温度でゆっくりと進行するため感じにくく、特に睡眠中などは気がついた時は重症化しているケースが多く見られます。

低温やけどを防止するには、「暖房器具はつけっぱなしにしない」ことが鉄則です。湯たんぽを布団に入れたまま寝ない、使い捨て



てカイロを一か所に貼ったままにしないなど、熱源に長時間触れないように気をつけることが大切です。暖房器具の使用法を正しく守って、快適に冬を過ごしましょう。

② 「冬の食中毒」

食中毒は夏場だけでなく、冬場にも起きます。夏場の食中毒の多くは細菌によるものですが、冬場の食中毒はウイルスによるものが多くなり、その大半がノロウイルスが原因で引き起こされています。

「ノロウイルス」

- ・ 時期は11月から3月にかけて急増すると言われています。
- ・ 原因食材としてはカキが多いが、最近原因不明やカキ以外の食品からの感染が多くなっています。
- ・ 感染力は強いが、熱に弱く、十分な加熱で死滅するウイルスであると言われています。
- ・ 潜伏期間は24時間から48時間と言われています。

「主症状は」

- 嘔吐、腹痛、下痢（水様性）
- 発熱（38度以下）
- で発病当初に激しい症状を起す。



多くの場合1日から2日で回復するが、1週間程度は、便中に

ウイルスが排泄されるので、症状が治まっても注意が必要であるとされています。下痢や風邪に似た症状があった時は、調理に従事しないなどの予防が必要です。

◆平成二十一年度

江東区内消防団合同点検

【期日】9月27日 場所／木場公園

今年は、消防総監が点検者として！

合同点検は、消防団員の職務に対する使命感の啓発と、士気高揚を図ると



ともに、災害発生時における活動技能や都民に対する防災指導技能及び平素における教育訓練の成果を確認し、精強なる消防団の育成を図る為に実施されました。

また、関係機関の方々や、地域の皆様に消防団の活動をご覧頂き、なお一層のご理解とご協力を得るものでした。

「深川・城東 女性消防団員による小隊操練実施」



当日は深川・城東消防団全員が徒列行進し、部隊検閲実施後の10時25分より5分間、深川・城東消防団員併せて30名の女性団員により消防操練が行われました。

消防操練は停止間における小隊の整頓、方向変換、隊形変換等、消防部隊として必要な部隊操練の一部が行われました。

消防操練の目的は消防団員として必要な、厳正な規律、旺盛な士気、さら

には、部隊としての団結心及び共同動作を錬磨し、一糸乱れぬ迅速、的確な部隊行動を錬成するとともに、指揮者の指導能力の向上を目的としております。

消防団員ハンドブックが手許にありながらまた、消防操練のこのような目的もきちんと事前に把握していません。私も今回、操練を行う一人として消防操練に参加しておりました。

私の反省の意味で、合同点検当日の広報文、消防団員ハンドブック抜粋を紙面に載せていただきました。

(消防団員ハンドブックP8より)

第1章 消防団の組織

3 消防団の任務等

(3) 消防団活動上の心得

④災害出場に備え、迅速かつ的確な行動がとれるよう、諸準備を整えておくこと。

⑤活動時は、上司の命令に従い、統率された組織的な活動のもとに、規律厳正な活動を行うこと。

(第七分団湯浅編集員)

緊急 避難の仕方 知っていますか!
マンションなどの
高層住宅にお住みの方へ!

避難方法
玄関などの出入口に火災の煙や炎が充満して避難できない時は、ベランダに出て仕切板を破って隣室へ避難しましょう。避難ハッチを使って避難する場合もあります。ベランダの仕切板や避難ハッチ付近に物が放置してあると、避難の妨げになります。物を置かないようにしましょう。

深川消防署 深川消防団

合同点検以降の
表彰者の紹介

◆東京都消防褒賞(10月21日)

- 団本部 分団長 山下 勝義
- 第九分団 分団長 津川 守
- 第二分団 副分団長 渡邊 美憲

◆深川消防署長表彰(11月26日)

(消防活動功労)

- 第十分団 副団長 小安 勤
- 団本部 副団長 古田 保広
- 第十分団 副分団長 古田 保広
- 第十分団 部長 榎山美恵子
- 第十分団 部長 田島ヒロ子
- 第十分団 班長 金田 淳子

消防署の指導者紹介

警防課 秋葉 課長	山崎 係長	久保田 主 任	1部 東出 主 任	2部 高澤 副主 任	吉川 主 任	小柴 副主 任	木村 副主 任	3部 奥野 副主 任
-----------	-------	---------	-----------	------------	--------	---------	---------	------------

**今年、四月一日
から義務化
住宅用火災警報器**

深川消防団員募集中!!
女性・勤務者・学生の方大歓迎

◆入団資格
心身ともに健康で、十八歳以上の方
消防団の区域内に居住、又は勤務の方

◆問い合わせ
深川消防団本部(深川消防署内)
電話 〇三(三六四)〇二九

●●● 編集後記 ●●●

昨年末にNHKで「坂の上の雲」が放映された。舞台となった明治の時期、欧米列強諸国がアジア諸国にその勢力を伸ばして迫り、日本はその影響に対して恐れを募らしていた。しかしながら当時の日本は、明治維新によって開国をしたとは言え、未だ発展途上国にすぎず、先進国である欧米列強諸国に比ではなかった。そこで日本は富国強兵策をとり、欧米列強諸国と肩を並べるよう発展に尽力したのである。その状況を「坂の上の雲」では、秋山兄弟、正岡子規に焦点を当てて、欧米列強諸国を「雲」にたとえ、坂の上に浮かぶ雲として、著者司馬遼太郎は描いたと言われている。翻って我が深川消防団を見てみるとそれなりの業績、成果を上げているとは言え未だ未だ発展すべき余地は残されていると思われまます。消防団活動における技術の向上、団員数の更なる増員、地域社会への消防団の浸透、連携等々、課題は未だ多く存在していると考えるべきでしょう。

また、社会状況の変化、現代に生きる人々の意識の変化等により消防団を取り巻く環境は決して良い状態ではありません。それこそ、「坂の上の雲」の雲ではありませんが、我が深川消防団が目指す「雲」を団員各自が見たいです。今年深川消防団が益々発展するために「さきもり」編集委員一同努力を積み重ねる所存です。本年も宜しくお願いたします。

(頓珍漢)